

## 2025～2026 年度久留米北ロータリークラブ運営方針 会長 稲益 一郎



### ～ 先人への感謝、仲間との信頼、未来への希望 ～

2025-26 年度会長を仰せつかりました稲益一郎(2001 年 1 月入会)です。今年度 RI 会長デ・カマルゴ氏の突然の辞任を受け、フランチェスコ・アレッツォ氏が会長に就任されましたが、「よいことのために手を取り合おう」はそのまま継承され、混迷を深める世界情勢において世界平和の実現のため結束を呼び掛け、会員増強によるクラブの持続可能な活性化を提唱されています。今年度の濱野良彦ガバナーは「少しの成長から始まります！」のメッセージにクラブ運営について戦略計画(将来像を描くこと)の重要性、ロータリーの本質を変えず、リスクを恐れないで成長し続けることを説かれています。3年後のクラブ創立 50 周年(クラブビジョン達成)に向け、先輩たちが築かれた歴史と伝統を継承しながら、新たな魅力溢れるクラブの構築を目指します。

#### 【戦略計画】(3年～5年)

2027-28 クラブビジョン	2027～28 年度に <b>会員数 100 名クラブ</b> となる
-----------------	-------------------------------------

1. 戦略計画(3 年間)と単年度計画の調整を図りながら継続的会員増強・維持の基盤を築き**クラブビジョンを実現する**
2. 会員増強・維持目標:2025-26、2026-27、2027-28 年度の各年度純増 7 名以上
3. HP の刷新 ウェブサイト上の存在感を高め SNS を活用してクラブの情報を発信する
4. HP の例会出席を可能にして新たな**会員基盤を拡大**する。
5. 衛星クラブ(E クラブ)の設立を検討する

#### 【単年度計画】(2025～26 年度)

1. **1) 会員増強** 年度目標 会員純増 7 名(年内に5名入会、入会推薦者10名以上)  
**2) 会員維持** 年度目標 会員退会 0 名 ※退会者は新会員を推薦する
2. 国際奉仕 台湾花蓮港区 RC のグローバル事業パートナーとして事業を支援する
3. 青少年奉仕 久留米信愛高等学校にインターアクトクラブを創設する
4. ロータリー財団 1 円からの寄付によって幅広い寄付と寄付目標値を達成する
5. 継続事業 従来の各事業を維持発展する(おぎゃー献金、野球感謝祭、駅ピアノ等)
6. 特徴あるクラブ事業
  - 1) 健康管理委員会:エコー検診の奨励(会員家族、社員等)
  - 2) 食育委員会:地元の農作物を知って、地産地消に貢献する
  - 3) スポーツ親善委員会:スポーツを通じて地域社会の発展に貢献する
7. 例会の充実と出席率の向上
  - 1) 魅力ある卓話の提供
  - 2) 魅力ある例会をサポートする楽器演奏の継続
  - 3) ラジオ体操 1 分間ストレッチ 4 つのテスト唱和を継続

クラブ会長責務の最重要事項は**会員増強と維持**であることは、手続要覧に明記されています。その成功の可否は、**偏に会長の熱意とリーダーシップ**にあることは言を俟つまでもありません。今年度は次の年度と、次の年度はその次の年度と連携し、会員全員参加で我々のビジョンを実現しましょう。久留米北ロータリークラブには十分可能なことです。

### ～ 幹事就任あいさつ～

2025～2026年度 幹事 眞木啓樹



この度、久留米北ロータリークラブの幹事を拝命いたしました眞木啓樹です。稲益会長の方針のもと、会員の皆様が楽しめるクラブ運営に取り組んでいきたいと思っております。一年間よろしくお願いいたします。